データ抽出：システム
コメント作成：リウマチ内科

関節リウマチのメソトレキサート使用率

目的

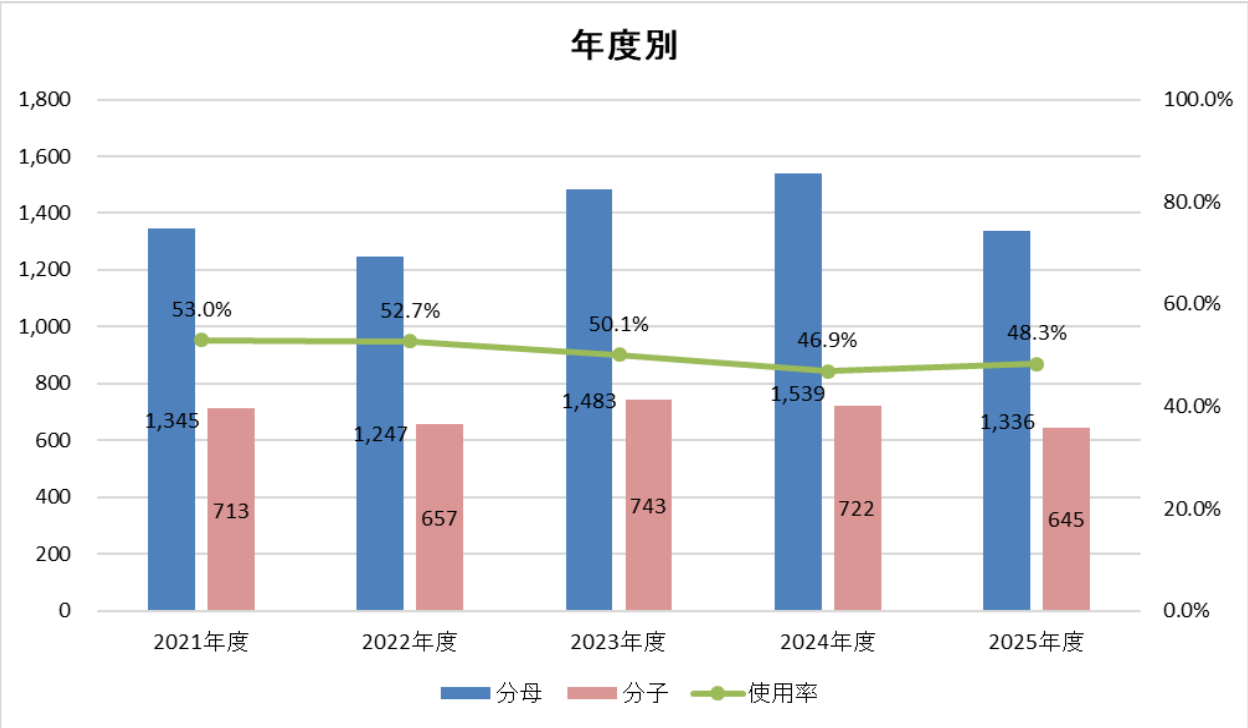
臨床指標、学会の指標の比較

分母

対象期間中に、IG科（IR科）で関節リウマチ（ICDコード ”M06*”）が外来病名の主病名として登録がされている患者で、期間内にIG科（IR科）2回以上受診している患者数

分子

分母の条件を満たしている患者様で以下のいずれかの薬が対象期間に外来で処方されている患者



データ抽出内容

抽出対象期間に、IG科（IR科）で関節リウマチが外来病名の主病名として有効になっている患者さんを抽出し、その有効になっている期間内でIG科を2回以上受診している患者さんを抽出する。

例1：抽出対象期間　2010/4/1～2011/3/31
　　病名有効期間　2011/5/1～Null
　　→2011/5/1～2011/3/31間でIG科（IR科）を2回以上受診していればカウントする。

例2：抽出対象期間　2010/4/1～2011/3/31
　　病名有効期間　2007/4/1～2011/2/1
　　→2010/4/1～2011/2/1間でIG科（IR科）を2回以上受診していればカウントする

2016.06.04　リプレイスに伴う条件変更について
今まで病名区分が「入院・外来」のみでしたが「入院・外来・入外」と追加になりました。
今回は「外来」で登録されている病名で抽出作業実施しております。

データ分析コメント

メソトレキサート（MTX）は関節リウマチ（RA）治療において、アンカードラッグであり、特段の事由がない限りは全ての患者に使用されるべき薬剤です。当科では長期間にわたり50%前後と投与率が低く維持されています。一因には当院が位置する県央・県西部の高齢化が進み、薬剤合併症を懸念していることもありますが、他方、診療ガイドラインをはじめとした標準的治療の適応の徹底を科内で行っております。今後、速やかに状況が改善すると考えられます。